

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/06/22号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



イラン和平合意で急落、一時70ドル台前半へ

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル台後半まで急落した。6月14日に米国とイランが和平合意を発表したことで、原油供給過環境の正常化を先取りする動きが優勢になった。17日には両国の戦闘終結を定めた覚書への署名が行われ、今後はイラン核問題など巡る「最終合意」を目指して60日間の交渉期間に入る。イスラエルとレバノンの交戦が報告されるなど、一定の緊張感は維持されているが、ホルムズ海峡の封鎖解除による供給増を見込んで、80ドルの節目を完全に割り込み、一時72.83ドルまで下落して3月3日以来の安値を更新した。

2月28日の米国とイスラエルによるイランへの攻撃で始まったイラン戦争は、ようやく終結に至った。今後の核問題を巡る協議などによっては改めて軍事紛争やホルムズ海峡の封鎖が行われる可能性もあるが、すでにホルムズ海峡を通航するタンカーの数が増えているとの報告もあり、原油相場は素直に売り優勢の展開となった。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (6月12日時点) は、原油が前週比826万バレル減、ガソリンが91万バレル減、石油精製品が95万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレマー) をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

イラン和平合意の織り込み続くと、瞬間的に70ドル割れも

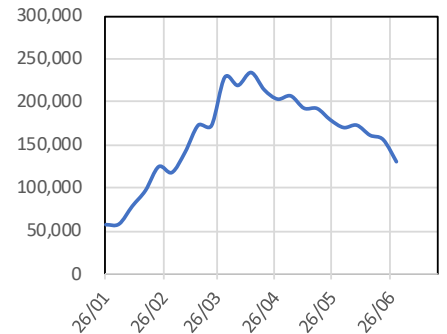
米国とイランの和平合意成立を受けて、原油市場環境は急変しつつある。既に前週の段階で和平合意期待の織り込みが進んでいたが、実際にホルムズ海峡の封鎖解除も段階的に行われると、原油需給にも大きな影響が生じることになる。おおむね30日で戦争勃発前の船舶通航環境の回復を目指すことになるが、このままタンカーによるホルムズ海峡通過の報告が増えてくると、原油相場の値下がり傾向が続きやすい。

向こう数週間は消費国の在庫取り崩しが続く可能性が高いため、まだ緊張感は維持される。しかし、湾岸諸国は大量の陸上・洋上在庫を抱えているため、大規模な輸出に意欲を示している。需給バランスは供給不足から供給過剰に急転換する見通しであり、消費国では在庫積み増しの動きも始まる可能性がある。

このままホルムズ海峡の封鎖解除が着実に進めば、投機筋は原油市場の買いポジション整理を進めることになり、短期的にはオーバーシュート気味の安値形成が進む可能性まで想定しておく必要がある。70ドル割れを試す可能性もあろう。

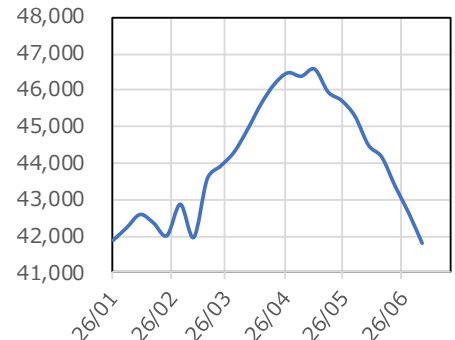
ただし、このまま中東情勢が安定化するのには不透明感が強い。イスラエルはレバノンに対する攻撃を繰り返しており、米国とイランの双方から批判されているものの、和平合意を意図的に覆そうとしているのではないかと疑問視されるような動きも繰り返している。また、今後はイラン核問題の進展状況をみながら米国は対イラン制裁の緩和・解除、復興支援などを進めていくことになるが、米国とイランが「最終合意」に至るのかも不透明感が強い。イラン情勢次第では80ドル台回復など、安値修正が促される可能性も残されている。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



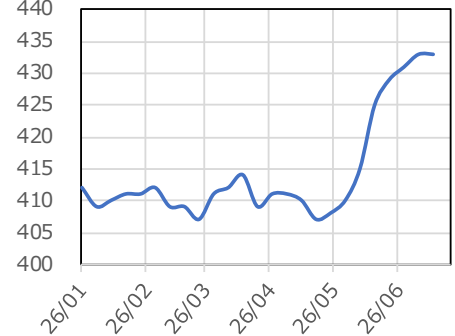
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

